

予算報告

平成20年度の国による地方財政計画において、特に財政状況の厳しい地域に重点的に財源を配分するという特別枠として総額4,000億円の「地方再生対策費」が創設されました。しかし、その特別枠を除くと三位一体改革の「基本方針2006」に基づく歳出削減目標に従って、引き続き地方歳出は厳しく抑制されています。本市において歳入に見合った歳出予算の実現を図るべく予算総額170億円を目標に、昨年度に続き大幅な歳出削減に取り組みました。勤奨退職の奨励および新規採用者の抑制等による人件費の縮減、公共事業の抑制並びに年次割の延長、指定管理者制度の導入による公共施設管理経費の抑制、その他行政全般にわたる事務事業の見直しを行い予算に反映させています。また、財政健全化計画に基づく市債の借換(3億2千万円)、土地開発公社経営健全化のための公共用地の買戻し(3億円)、西吉野および大塔地区への地上デジタルテレビ放送(地デジ)対応のためのケーブルテレビ施設整備(3億8千万円)、中学校耐震補強事業などを盛り込み、一般会計総額179億3千8百万円、前年度比1.3%減の予算となりました。

会計別予算総括

五條市の会計は、中心となる一般会計のほか、9特別会計(国民健康保険や下水道事業など)と、地方公営企業法に基づく企業会計(水道事業)があります。

[単位：千円、%]

会計名	平成20年度当初予算	平成19年度当初予算	対前年度比較		
			増減額	増減率	
一般会計	17,938,000	※ 18,171,754	△ 233,754	△ 1.3	
特別会計	国民健康保険	4,263,000	4,235,000	28,000	0.7
	簡易水道	512,500	468,500	44,000	9.4
	老人保健	622,000	4,157,000	△ 3,535,000	△ 85.0
	下水道事業	1,795,000	1,222,700	572,300	46.8
	墓地事業	1,860	3,240	△ 1,380	△ 42.6
	介護保険	3,023,000	2,860,400	162,600	5.7
	大塔診療所	53,200	54,200	△ 1,000	△ 1.8
	農業集落排水事業	2,100	2,190	△ 90	△ 4.1
	後期高齢者医療	396,400	0	396,400	皆増
	小計	10,669,060	13,003,230	△ 2,334,170	△ 18.0
企業会計	水道事業費用	738,559	766,839	△ 28,280	△ 3.7
	資本的支出	876,406	581,657	294,749	50.7
	小計	1,614,965	1,348,496	266,469	19.8
合計	30,222,025	32,523,480	△ 2,301,455	△ 7.1	

※ 平成19年度一般会計予算は、当初の骨格予算に政策的経費を主体とした1次補正を加えた肉付け後の予算額を計上しています。

市債残高の状況

[単位：千円]

会計別	市債残高		
	平成18年度決算	平成19年度決算見込	平成20年度予算
一般会計	33,091,072	31,443,572	30,023,438
簡易水道特別会計	2,999,578	2,972,043	2,864,288
下水道事業特別会計	10,444,302	10,198,826	10,053,055
大塔診療所特別会計	1,500	1,500	1,500
農業集落排水特別会計	29,900	29,900	29,900
水道事業会計	2,669,443	2,477,019	2,269,010
合計	49,235,795	47,122,860	45,241,191

主な基金残高の状況

[単位：千円]

基金名	基金残高		
	平成18年度決算	平成19年度決算見込	平成20年度予算
財政調整基金	1,072,578	824,578	324,578
減債基金	981,870	733,870	233,870
公共施設整備基金	105,139	6,139	6,139
その他特定目的基金	1,225,000	1,073,000	1,369,000
合計	3,384,587	2,637,587	1,933,587

五條市の平成20年度予算は、平成20年第1回市議会定例会で当初予算の議決を経て成立しました。予算は市民の皆さんによって納められた税金や、地方交付税、国庫支出金などがどのように使われるかをまとめたものです。市政を皆さんに正しく理解していただくため、「市の家計簿」である予算の状況をお知らせします。